

# 中学生の「税についての作文」

〔和歌山県納税貯蓄組合総連合会 会長賞〕

〔日高地方租税教育推進協議会 最優秀賞〕

（敬称略）

## 税金の使われ方

日高中学校2年

嶋田 雅樹



僕は、少し前に家の近くで遊んでいてねんざをしてしまいました。きついねんざだったので、接骨院へしばらく通いました。学校では部活動を休んだら、松葉杖だったので友達にもずいぶん世話になりました。接骨院で治療を受けましたが、窓口でお金を払うことはありませんでした。なぜ、お金を払わなくてもいいのかこの疑問に思いました。家でこの話をすると、日高町では中学生はお医者さんにかかってもお金がかからないと教えてくれました。そして、日高町の各家庭に配ってかれている「日高町の暮らし便利帳」という冊子を渡されました。この冊子の中に、中学生だけでなく、日高町では十八歳ま

での子供は医療費が無料と書かれています。十八歳までお医者さんにかかってもお金がいらないなんてとてもいいなあと思いました。

でも、僕はお金を払っていませんが、病院はお金をもらわなければ、もうけになりません。どこからお金を支払われているはずですか。一体どこから支払われているのでしょうか。家で聞いてみると、父は公務員ですが、毎月の給料から「短期共済掛金」というのがひかれています。そうなんです。これが、病院にかかったときの医療費として支払われます。しかし、それは医療費の一部で、残りの何割かは自分で支払わなければならないことが分かりました。ところが僕は、接骨院で治療したのに全く治療費を払っていません。なぜなら、残りの分は、僕の住んでいる日高町が負担して僕のかわりに払ってくれたからです。つまり、日高町の税金から支払われたということです。ふだんは、税金のことはまるで考えていませんでしたが、このように使われていることが分かりました。

日高町では十八歳まで医療費が税金から払ってくれるので無

料ですが、他の市町村ではどうなのでしょう。インターネットで見ると、東京のある区では、高校三年まで無料だったのに、引越した横浜では無料になるのは入院が中学三年までで通院は小学校一年生までしか無料にならないと聞いてビックリしたとありました。住んでいるところでは、こんなにも差があるんだなあと思いました。

弟は今年から保育所に通っています。母の話では、保育料が無料だということです。僕や、今小学生の弟の頃は、保育料が高かったそうですが、今保育所へ行っている弟は三番目なので無料なのだそうです。

十八歳まで医療費が無料だったり、三番目から保育所へ無料で通えたりするのは、日高町の税金の使い方の一つのあらわれのようです。他の町だと別のところに使われているのかもしれない。税金に目を向けてみると今まで気づかなかったことに気づかされました。

# 〔和歌山県知事賞〕

(敬称略)

## もっと理解を深めて

日高中学校1年

最明 希香



私はあまり税金について知りませんでした。「税金」と聞くと私は、「高いわ、そんなもんいらんわ。」と思っていました。私は税金がなくなればみんな幸せになれると思いました。

でも、全然違いました。税金がなくなってしまうと学費や教科書、病院の医療費なども自分たちではらわなければなりません。そう考えると中学生の一年間に必要なお金は約百万円ちよつというそうです。こんな大きなお金は自分たちではらえないのでこういうところでも税金が使われていると知りました。税金はみんなのために必要不可欠です。

これだけではありません。私たちが日常的に歩いたり通ったりしている道路も税金でつくられているので、税金がなくなるとその土地を所有している人に通行料をはらわなければなりません。道路ができると事故をしないように信号も必要になってきます。その信号なども私たちがはらっている税金で動かされています。

私たちが生活している中で

てくるごみもそうです。

ごみがでるとそのごみを回収する収集車も税金でまかなわれています。もし、火事などがおこってしまうと火を消してもらうのにすごく大きなお金が必要になってしまいます。その消火するお金も税金ではらわれています。このように見るとどれだけ税金が必要なのか分かりません。他にもたくさんあります。公園の整備、緑のおおい豊かなまちづくりに使われています。どこをみわたしても緑がおおいは税金のおかげだと知りました。

さらに税金のことについて調べてみると、お年寄りの方の介護にも使われていました。今、日本は高齢化社会です。まだ何年かこの高齢化社会が続くと言われています。ということは、まだまだ税金が必要になってきます。しかし、今の日本は少子化問題に陥っています。なので若い人たちが少なくなると、税金があまり入ってこなくなると、これからどうなっていくのか心配になりました。

私は税金のことをくわしく知ってよかったと思います。あまり知らなかったときは、「なんで税金らおさめなあかんねん。」と言っていました。

でも税金は、豊かな国をつくるため、みんなが幸せに暮せるためがあると知って感動しました。私たちがおさめている税金を国会議員のプライベートなどで使われているという問題がありました。みんなが幸せになるためにおさめているので国のために使ってほしいと思います。

前の私みたいに何も知らずに、「税金なんかいらん。」と考えている人たちにもっと理解を深めてみんなでも明るい希望のある日本にしていきたいです。

この作文は、御坊税務署、公益社団法人御坊納税協会および日高納税貯蓄組合連合会共催による平成30年度中学生の「税についての作文」において、応募総数1839点の中から入賞された作文です。

